

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 グローブライド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7990 URL <https://www.globeride.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 鈴木 一成
 問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員管理本部長（氏名） 谷口 央樹（TEL）042-475-2115
 半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 2024年12月6日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	65,253	△3.9	5,011	△23.2	4,840	△32.8	3,327	△34.8
2024年3月期中間期	67,876	△8.7	6,522	△30.8	7,198	△29.8	5,099	△31.3

（注）包括利益 2025年3月期中間期 7,906百万円（△3.6%） 2024年3月期中間期 8,202百万円（△24.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	144.78	—
2024年3月期中間期	221.96	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	113,312	61,603	54.1
2024年3月期	108,717	54,488	49.9

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 61,356百万円 2024年3月期 54,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2025年3月期	—	40.00			
2025年3月期（予想）			—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	0.8	5,500	△26.6	5,100	△39.1	3,400	△39.1	147.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	24,000,000株	2024年3月期	24,000,000株
2025年3月期中間期	1,010,742株	2024年3月期	1,021,181株
2025年3月期中間期	22,981,585株	2024年3月期中間期	22,973,726株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化や雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の持ち直しを背景に、緩やかな景気回復基調で推移しました。その一方で、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、円安による物価上昇や消費マインドの停滞により、依然として先行き不透明な状況が続いております。海外においては、欧米を中心に個人消費が持ち直しつつあるものの、ウクライナ情勢や中東情勢等の地政学的リスク、欧米各国の依然として高い金利水準、中国経済の景気減速などもあり、全体的な経済回復には至っていない状況です。こうした情勢の下、当社グループの属するアウトドア・スポーツ・レジャー業界の市況は、余暇の過ごし方が旅行や買い物など、他のスポーツ・レジャーへ分散化、多様化し、また、物価高による家計への負担増の影響を受け、停滞感が見られる状況となりました。

そのような中、当社グループにおきましては、ライフタイム・スポーツ・カンパニーとして、自然とスポーツを愛する皆様に、魅力ある製品と質の高いサービスの提供を行ってまいりましたが、釣り具などのアウトドア・スポーツ・レジャー用品の需要減速や市場在庫調整等の影響を受け、当中間連結会計期間におきましては、売上高は652億5千3百万円(前年同期比3.9%減)となりました。利益面におきましては、減収による粗利益の減少や人件費等の費用の増加等により、営業利益は50億1千1百万円(前年同期比23.2%減)、経常利益は48億4千万円(前年同期比32.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は33億2千7百万円(前年同期比34.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高及び振替高を含んでおります。

日本

日本地域におきましては、旅行など他のレジャーへの消費の多様化や、エネルギー価格や物価の高騰が家計を圧迫している状況からアウトドア・スポーツ・レジャーの市況は足取りの重い状況となっております。そのような中、当社グループは、フィッシングではスピニングリール「CERTATE」、ゴルフでは「ONOFF AKA」などお客様にご満足いただける新製品の投入とサービスの提供を行ってまいりましたが、売上高は428億8千9百万円(前年同期比2.2%減)、セグメント利益は、減収による粗利益の減少等により、32億6千8百万円(前年同期比19.9%減)となりました。

米州

米州地域におきましては、市場在庫の調整は落ち着きつつありますが、依然高い金利水準の下、市況の回復は緩やかな状況にあります。そのような中、米国市場向けには「TATULAシリーズ」を始めとしたバスフィッシング用品を中心に販売拡大の取り組みを行った結果、また円安による換算の影響もあり、売上高は80億5千6百万円(前年同期比10.4%増)、セグメント利益は1億5千9百万円(前年同期比61.8%増)となりました。

欧州

欧州地域におきましては、各国金利の高止まりから、消費マインドは全体として改善ペースが弱く、市況は引き続き力強さに欠ける状況にあります。そのような中、引き続き各地域のニーズに合った製品の投入等を行った結果、また円安による換算の影響もあり、売上高は92億2千6百万円(前年同期比12.9%増)、セグメント利益は7億2千1百万円(前年同期比68.6%増)となりました。

アジア・オセアニア

アジア・オセアニア地域におきましては、国ごとの社会経済情勢にはばらつきがありますが、総じて景気は低迷しており、個人消費も低調な状況にあります。そのような中、当社グループにおきましては、日本製の高級品や現地専用品を中心に売上拡大に取り組んでまいりましたが、売上高は236億7千8百万円(前年同期比4.9%減)、セグメント利益は26億1千3百万円(前年同期比24.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、主に棚卸資産の増加等により前連結会計年度末に比べ45億9千5百万円増加し、1,133億1千2百万円(前連結会計年度末は1,087億1千7百万円)となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことに加え、為替換算調整勘定の変動により前連結会計年度末に比べ71億1千4百万円増加し、616億3百万円(前連結会計年度末は544億8千8百万円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,979	9,505
受取手形及び売掛金	13,995	18,285
電子記録債権	391	602
商品及び製品	31,036	33,614
仕掛品	3,856	4,354
原材料及び貯蔵品	3,761	4,570
その他	3,650	2,576
貸倒引当金	△559	△645
流動資産合計	69,110	72,864
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,511	6,008
その他(純額)	21,120	22,088
有形固定資産合計	26,631	28,097
無形固定資産		
その他	1,505	1,465
無形固定資産合計	1,505	1,465
投資その他の資産		
投資有価証券	6,476	6,279
退職給付に係る資産	133	149
その他	4,899	4,496
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	11,470	10,885
固定資産合計	39,606	40,448
資産合計	108,717	113,312

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,897	6,254
電子記録債務	6,806	1,228
短期借入金	12,682	13,118
未払法人税等	550	784
賞与引当金	932	1,082
役員賞与引当金	35	33
その他	7,746	7,394
流動負債合計	33,651	29,896
固定負債		
長期借入金	11,645	12,758
退職給付に係る負債	5,580	5,583
その他	3,350	3,470
固定負債合計	20,577	21,813
負債合計	54,229	51,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,184	4,184
資本剰余金	27	41
利益剰余金	42,279	44,802
自己株式	△881	△873
株主資本合計	45,609	48,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,492	3,335
繰延ヘッジ損益	18	△12
土地再評価差額金	1,977	1,977
為替換算調整勘定	3,201	7,937
退職給付に係る調整累計額	△38	△34
その他の包括利益累計額合計	8,652	13,202
非支配株主持分	226	246
純資産合計	54,488	61,603
負債純資産合計	108,717	113,312

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	67,876	65,253
売上原価	42,615	40,491
売上総利益	25,260	24,762
販売費及び一般管理費	18,738	19,750
営業利益	6,522	5,011
営業外収益		
受取利息	31	45
受取配当金	67	77
不動産賃貸料	3	3
為替差益	793	-
その他	220	333
営業外収益合計	1,115	460
営業外費用		
支払利息	252	258
為替差損	-	233
固定資産除却損	14	48
デリバティブ評価損	123	39
その他	49	51
営業外費用合計	438	632
経常利益	7,198	4,840
特別利益		
固定資産売却益	0	18
特別利益合計	0	18
特別損失		
固定資産売却損	4	3
減損損失	2	-
特別損失合計	6	3
税金等調整前中間純利益	7,192	4,854
法人税、住民税及び事業税	2,070	1,516
中間純利益	5,121	3,338
非支配株主に帰属する中間純利益	22	11
親会社株主に帰属する中間純利益	5,099	3,327

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	5,121	3,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	611	△157
繰延ヘッジ損益	141	△31
為替換算調整勘定	2,319	4,752
退職給付に係る調整額	8	3
その他の包括利益合計	3,081	4,567
中間包括利益	8,202	7,906
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	8,164	7,878
非支配株主に係る中間包括利益	38	27

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	37,128	7,294	8,174	15,279	67,876
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	37,128	7,294	8,174	15,279	67,876
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,728	3	—	9,606	16,338
計	43,856	7,298	8,174	24,885	84,214
セグメント利益	4,079	98	427	3,480	8,086

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,086
セグメント間消去及び全社費用(注)	△1,563
中間連結損益計算書の営業利益	6,522

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	34,946	8,047	9,217	13,041	65,253
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	34,946	8,047	9,217	13,041	65,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,943	9	8	10,636	18,598
計	42,889	8,056	9,226	23,678	83,851
セグメント利益	3,268	159	721	2,613	6,761

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,761
セグメント間消去及び全社費用(注)	△1,750
中間連結損益計算書の営業利益	5,011

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。